

# 学校だより

令和7年7月18日(金) 特別号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>

## 夏休みの過ごし方

校長 細井博幸

1学期を終え、いよいよ明日から39日間の夏休みとなります。夏休みに入ってすぐに埼玉県中学校総合体育大会が始まります。本校からは、柔道男子・女子団体、柔道男子・女子個人、水泳女子個人と市の大会で優れた成績を収めた生徒達が出場します。熱戦を勝ち抜いた選手たちには、中学校部活動の集大成として、悔いの残らない最高の試合を繰り広げて欲しいと願っています。西原中生の活躍を楽しみにしています。



さて、勉強、部活、遊びそして休息と、生徒それぞれがこんな夏休みにしたいとの思いをもっているかと思います。特に1年生にとっては、中学校生活初めての夏休み。部活動という新たな時間が加わり、小学校との違いを感じることもあるかも知れません。また、中学校は部活動だけでなく、社会的に「自立」していくだけの力を身に付けていく大切な時期とも言えます。自立していくために大切なことは、様々ありますが、3つ取り上げたいと思います。

1つ目は、自己管理能力を身に付けるということです。学校では、夏休み中の学習や生活の目標設定、一日の過ごし方の計画、行ったことの記録、そして振り返りをを行います。これらの取組は、自分の生活を自分でコントロールする力を養っています。自ら立てた目標達成に向けて努力するとともに、一日一日の記録を通して振り返り、翌日に生かせる夏休みにできるといいですね。

2つめは、自己決定力を高めるということです。自分の意見を持ち、自分で考え、判断し、行動することが大切です。夏休みは、家族と過ごす時間も増えますが、過度な干渉は避け、子どもが自分で決める機会を増やすことで、自己決定力を高めるだけでなく、自分の行動の結果に責任を持ち、失敗から学び、改善していく姿勢を身に付けることにもつながります。

3つめは、良好な人間関係を築くということです。自立とは自分だけのことと考えがちですが、自立するためには、それを支える良好な人間関係が支えとなります。夏休みの中で、友達や家族などとの関わりを通して、良好な人間関係を深められるといいですね。

中学生としての自立とは、「身の回りのことを自分で行い、自分自身で責任を持って行動できるようになること」と考えます。保護者の皆様におかれましては、焦らず、お子さんの良さや成長を見つけ、認められるといいですね。

最後に、すでにお手紙でお伝えしていますが、本校では、熱中症対策、防犯対策として、この夏休みに限り、保護者が申請した生徒は、家からの距離に関係なく、自転車通学を認めることとしました。先日、臨時朝礼を行い、ヘルメットの着用、ルールやマナーを守ること等、生徒への安全指導を行いました。開校から42年、本校では自転車通学が禁止となっておりましたが、保護者、地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら、新たな取組に挑みます。しかし、自転車通学をしなくてはならない訳ではありません。自宅からの距離、交通事故などの心配等、各家庭で十分お子さんと相談の上、申請をしていただきたいと思います。

2学期始業式。一回り成長した西原中生の元気な姿を楽しみにしています。